



発行所：特定非営利活動法人ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話/FAX：03-3945-2415

E-メール：info@v-c-f.org ホームページ：http://www.v-c-f.org/

ベトナム子ども基金通信

No.57
2013.1.28



校庭の売店に集まる子どもたち。早朝から授業が始まるため、子どもたちは休憩時間にお菓子やパン、豆乳飲料などを買っておなかを満たします(2012.10 ロンアン省の小学校)

昨年10月にホーチミン市の青葉奨学会を訪れた際、最終日にツアーの下見を兼ねて市内観光をするかブンタウ観光をするか迷っていました。すると、ドンズー日本語学校のD先生よりご実家が近くなので、週末の帰省がてら案内してくださるとのありがたい言葉、一路ブンタウに向かいました。ブンタウ行きの乗り合いバスで、海へと続く幹線道路を快調に飛ばすこと3時間弱。しばらく道路の両端にはお店や家が立ち並んでいましたが、かすかに潮の香りが漂うころには、マングローブの森とエビの養殖場が目に入るようになりました。途中D

先生の妹さんとおいのT君と合流、今度は妹さんの運転で最終目的地へ。まず、強烈な日差しが照りつける中、ベトナム語でその名も「小さい山」に建てられたキリスト像に登りました。長い階段に息も絶え絶え、玉のような汗を流し、真昼に登ったことを軽く後悔しながら頂上にたどり着くと、眼下には明るい碧色の海、長く続く砂浜、その背後に色とりどりの建物群といった、のどかな南国の風景が広がっていました。一休みして山から下り、タマリンドの並木道を通り海へ。そして思いがけず、10月に海水浴をすることになりました。地元の人

もまばらで、きっとシーズンではないのだろうと思いながら、D先生と一緒に温かい海へ。幼いT君が波を怖がり、波打ち際で砂山を作ったり、カニを見つけて遊んでいるのを見ながら、穏やかな波に時折、頭からかぶるほどの波が打ち寄せる中、2人して波に揺られながら、他愛もない話をして午後のひと時を過ごしました。D先生とご家族と過ごした時間は、ホーチミンの喧騒に少し疲れていた私を、とても落ち着いた気持ちにさせてくれました。

さかもと りょうこ
(坂本 亮子)

ベトナム子ども基金事務局長

ドゥ・レ・ギーさんと私

貧乏学生であった私は親切なアメリカ人のおかげでアメリカの大学で勉強する機会に恵まれ、帰国後はNHKの国際局で英語ニュース解説者として10年近く働き、その後は東京理科大学で定年まで時事英語を教えたり、論文指導を行ってきました。

このように恵まれた環境の下で勉強できたり働けたのは一にも二にもたまたま文通していたアメリカ人のお医者さんの援助があったからであり、私はそのお返しとして、社会人になってからは常に貧しい学生に何らかの形で手を差し伸べることができないかを考えてきました。そして最初に行ったのがフォスターペアレント協会を通じての活動でした。

しかしこの活動は協会の方針で援助する学生との個人的な関係を結ぶことはできず、何か物足りなさを感じていました。そんなとき、ある日新聞で「ベトナム子ども基金」のことを知り、早速事務局に電話をして、もし個人的に英語で文通できるのであればぜひその活動に協力させてほしいと申し出ました。数週後、事務局から、経済的に許されるなら大学へ進学したいという英語のできるベトナムの学生のプロフィールが送られてきました。それが女子高生のドゥ・レ・ギーさんでした。私

は喜んで彼女に手紙を送ったところ早速英語で返事が来ました。驚いたことに彼女の英語は日本の大学生でも書けないような素晴らしいものでした。何カ月か文通するうちに私は居ても立ってもいられず、ベトナムへ行き直接彼女や彼女の家族の皆さんに会う決心をしました。

初めてベトナムを訪れたのは1997年の夏で、空港でギーさんとお父さんが私を迎えてくれました。それから数日間ギーさんはホーチミン市のあちこちを案内してくれ、家族と一緒に食事をする機会を作ってくれました。ホーチミン市にあるドンズー日本語学校にも連れていってもらいました。そのとき校長先生に、「ギーさんが日本語を勉強したがついてきます」と伝えたところ、先生は「私の学校へいらっしゃい」と彼女を受け入れてくれました。

ギーさんは頭がよいためか「趣味は勉強」というくらい熱心な学生だったのでほんの数カ月で何とか日本語で自分の意思を相手に伝えることができるようになり、その後の手紙は日本語で書いてきました。初めて会ったときは会話は全て英語だったのですが、1年後にベトナムへ行ったときはもう日本語で話ができるようになりました。数年後に家内や友達を連れて行ったときは何の

不自由もなく日本語で会話を楽しんでいました。

彼女が大学生になってからも私はほとんど毎年のようにベトナムを訪れ彼女を激励してきました。彼女は私の期待に応え大学を優等で卒業し、今ではauditor（会計検査官）とし国際舞台で活躍しています（そのためか残念ながらこのごろのメールはまた英語になってしまいました）。

「小さな親切運動」というのが一時話題となりましたが、ちょっとした行為で社会をよりよいものにすることができるのです。「ベトナム子ども基金」の仕事は地道なものです。社会に大きく貢献できる活動であり、これからはギーさんと一緒に始める黄梅基金を通じて、「ベトナム子ども基金」のさらなる発展に協力させていきたいと思っています。



右から筆者、ギーさん、ギーさんご両親

きづか はるお
(木塚 晴夫)
里親会員

在米バイオリニスト、マレー(金子)飛鳥さんからのメール

以下、許可を得て転載します。

2012年8月20日
ベトナム子ども基金の皆さま

その後いかがお過ごしでしょうか？ 去年以降日本が大変なことになり、何人かの里親ももしかしたら震災被害に遭っているのでは？と心配しています。

私は相変わらずアメリカとヨーロッパ、そして日本を行ったり来たりの生活ですが、東京で東北支援のプロジェクトを立ち上げ、小さな力が少しずつ続いています。

去年の1月より、新しい3人目の里子、アデュー君の里親となりました。今、1カ月遅れたバースデーカードを書いているところです。実はそのときに奨学金を終了した2人目の里子、レ・ホアン君のことがいつまでも頭を離れません。

彼の最後の手紙には、ヴィン大学に入って一生懸命勉強していること、故郷が洪水となって生活が大変なこと、故郷から遠いところで勉強していて両親を手伝うことができず、家に帰ったときに両親に会うと胸が痛むこと、大学に入って新しい環境で精一杯、働きながらの学業がとても大変なこと、一部の学生は悪い事に勧誘されて悪い人になるけれども自分は心を強く持って社会のために役立つ人間になりたい、など書き連ねてありました。

私も、震災のことや親族の入退院などあってこの1年かなり忙しく、それきり手紙を出していませんでしたが、いつも気になっていたのです。せめて大学を卒業するまで援助させてもらえないだろうか…。よく見るとそちらからのお手紙には、「原則高校卒業まで」と書いてありました。

新しい里子にも支援を続けますので、もし可能なら特別

に大学生になったレ・ホアン君にも支援を続けさせていただけではないでしょうか？ 青葉奨学会にお問い合わせ&お願いしていただけないでしょうか？

せっかく大学に入ったのに、もしも経済的な理由で挫折してしまったりしたら…と思うと胸が痛むのです。

年間2万円という金額は、不景気で大変な日本やアメリカであっても、(3年前アメリカに移住してから私の夫も定職が見つかっていないので我が家も楽ではありませんが) 節約すれば紡ぎだせるお金です。

どうかご検討願えないでしょうか

2012年8月31日
(一部省略させていただきました)

里子からの手紙を読むたびに、同じように一生懸命働く親の元で、自分の子は普通に教育を受け、里子の方は正月にやっとな肉が食べられる…この世界の格差に涙が出ます。すまないなあという気持ちでいっぱいになってしまいます(今ワールドビジョンを通してほかにもエクアドルとインドネシアに里子がいます)。

一人の人間にできることは

本当に小さく、世界の経済システムをマシにするにはどんなことが「一人」にできるのか、いつも高校生の息子と一緒に家庭で真剣な議論をします。

ところで、私の両親はアーティストです。幼いころ義父と母の重い病気が重なり一時は一家離散して私は孤児院へ入り、家へ戻った後も極貧生活がしばらく続きました。ベトナムの子どもの貧困状況を少しであるかもしれませんが、自分のこととして胸が痛むのです。

親の愛といただいたいくつかの奨学金、そしてたくさんの方の助けと不思議な縁が繋がって、私はバイオリニストになることができました。その恩を、こうして他の子どもを支援することで少しずつ返していけること、今、自分がその境遇にあることを心からありがたいと思います。世界中の子どもが平等に教育を受けられる日が来ることを夢見しています。

小さな一人一人のたゆまぬ支援、それをつなげてくださる青葉奨学会、子ども基金の方々の歩み、本当にありがとうございます。

まれー かねこ あすか
(マレー(金子)飛鳥)

里親会員

<http://www.aska-aloah.com/>

ベトナムおこわ

夜になるとどこからともなく道端に姿を現し、その派手な色に度肝を抜かれ、思わず「うわっ、体に悪そう〜」とってしまうXoi(ソーイ)こと、ベトナムおこわ。

実はこれ、全て天然色で体に全然悪くない。普段見かけない色が多く、鮮やか過ぎるが故に、食べるのに相当な勇

気が必要なものの、一度食べたら結構ハマってしまう。暗くなる18時くらいから、ベトナム市場周辺をウロウロしていると見かけることができる。写真もベトナム市場で撮影したもの。

写真左側にあるオレンジ色は、ガックと呼ばれるウリ科の植物で色づけしたもの。蛍



光色っぽい色で健康に悪いんじゃないかという思いが真っ先によぎる。ガックの実は、外側もオレンジ色だが、割ってみると「これなら不自然なオレンジ色も納得できる」と、一瞬、血かと思間違えるような濃いオレンジ色の液がドロリと出てくる。

緑色は、パンダンリーフと呼ばれる葉で色づけしたものの。東南アジアでは一般的な食材で、着色料として用いられることが多い。ベトナムでは、おこわの他にもケーキやゼリー等、どちらかといえばデザート系の食べ物に使用されることが多い。

黄色は、緑豆で着色したものの。右側は、黒いお米から作ったおこわと、ピーナッツのおこわ。他にも、マゼンダの葉で着色した紫色のおこわもポピュラーだ。

以上、これらのおこわは、食べる時に砂糖、砕いたピーナッツ、乾燥させたココナッツを細かく切ったものをまぶして食べる。そのため、味は甘く、食事というよりも小腹が空いたときのおやつ感覚の食べ物で、これらのおこわで作ったケーキというのも存在する。



私がベトナムに来て、「おいしい！」と思ったのが、Xoi man (ソーイ・マン) と呼ばれるおこわ。Manというのは、塩辛いとかしょっぱいという意味で、直訳すると、しょっぱいおこわということになるが、ご飯感覚で、おこわ

の上におかずをのせたもの。店によっては、鶏のモモ肉を豪快にのせたものや、炊き込みご飯風にいろいろな具を混ぜて炊いたもの等いろいろある。



朝食として食べることが多く、通勤ラッシュ前の朝6時くらいになると、屋台を引っぱったおばちゃんがどこからともなくやってくる。ベトナムは、バイク天国であるためバイク通勤が主流で、バイクに乗りながらおこわを購入する。場所によって値段もまちまちであるが、庶民価格は7000ドン(25円)程度。大盛りにしてもらったり、トッピング量を多めにしてもらったり、1万ドン(38円)くらい。

私のお気に入りには、おこわの上にCha Lua (チャ・ルア)、サラミ、Cha Bong (チャ・ボン)、卵焼き、うずらの卵が具としてのっているおこわ。

作り方は、パックにおこわをよそい、そこにレバーペーストをスプーン1杯、それからベトナムしょうゆを1周半くらいかけ、下味をつける。日本では、しょうゆをご飯にかけるなんて考えられないことだが、ベトナムしょうゆはご飯にかけるとおいしい。しょうゆというよりもタレみたいな感覚。刺身やお寿司、そばのだし等には、切れのある日本しょうゆが合い、ご飯の上におかずをのせてしょうゆをぶっかけるなら、ベトナム

しょうゆが合う。

具のCha Luaとは、豚肉のハムのこと、写真では右側に見える白色の正方形のもの。酒のつまみ、バイン・ミー(ベトナムのサンドイッチ)の具材、正月料理としても欠かせない、大活躍の食材。

サラミは、日本のサラミと見た目は同じだが、味が甘く、ご飯のおかずとしては向いていない。コショウはしっかり効いているので、砂糖と塩を間違えたんじゃないかと思ってしまうくらいで、私はあまり好きではない。

それから、うずらの卵と卵焼き。うずらの卵は、日本と同じだが、卵焼きはヌックマム(魚醬)で下味をつけてあり、これが絶品。卵焼きごときと思ってしまうが、ベトナムの卵焼きはご飯のおかずとしてピッタリ。おこわに限らず、Com Binh Dan (コム・ビン・ザン=大衆食堂)で見かけたら、ぜひ食べてほしい一品。

これらの具材の下に見えるのがCha Bongと呼ばれる乾燥させた豚肉を引き裂いたもの。何も知らずに食べると、見た目と味から「裂きイカ?」と思ってしまう。ベトナムでは、塩味が足りないときに一緒に食べたり、ふりかけのようにご飯にまぶしたり、おつまみとしても登場したりと、ベトナム料理になくはない食材。ベトナム人は、ヌックマムとCha Bongがあれば、食事に困らないと言っても過言ではない。日本で言うところのしょうゆとノリのつくだ煮みたいな存在。

これらのおこわは、なかなかレストランでお目にかかれないローカル・フードで、おなかの調子が心配になるかもしれないが、特に危ない食材もないので、ぜひトライして

ほしい一品。おこわの屋台を見つけたら、とりあえず「Cho toi mot cai. (1つください)」と注文してほしい。「こんな食べ方があったのか」と、うなること間違いなし。

いとう はるひこ
(伊藤 晴彦)
ドンズー日本語学校教師



2012年定期会員総会議事録

特定非営利活動法人ベトナム子ども基金

1. 総会の種類 2012年定期会員総会
2. 招集年月日 2012年6月8日
3. 開催日時および場所
(1)開催日時 2012年6月16日(土曜日)午後2時
(2)開催場所 アジア文化会館101教室 東京都文京区本駒込2-12-13アジア文化会館
4. 会員数及び出席会員数
(1)会員数 252人
(2)出席会員数 252人(本人出席15人、委任状出席237人、書面出席0人)
5. 議長の氏名
高橋強
6. 議長選任の経過
定刻に至り南康雄が開会を宣し、司会者坂本亮子から本日の2012年定期会員総会は定足数を満たしたので有効に成立する旨を告げた後、議長の選出について諮ったところ、満場一致をもって高橋強が議長に選任された。続いて議長からあいさつの後、議案の審議に入った。
7. 議事録署名人の選任に関する事項
議長は、本総会の議事録をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、本間きく氏と吉原とも子氏を選任することを承認した。
8. 議事経過の要領およびその結果(議案詳細は前56号に掲載)
第1号議案 2011年度活動報告
第2号議案 2011年度決算報告および会計監査報告
議長は、第1号議案、第2号議案を一括審議することを告げ、活動報告および、決算報告について坂本に内容を説明させた。続いて坂本から、5月11日に監事黒川厚雄、樋川好美の2名による監査を実施したことを報告、活動報告、決算報告は、綿密に調査したところ、法令に照らしいずれも妥当であることを認めた旨の監査報告書を読み上げた。議長はこれを議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。
第3号議案 2012年度活動計画案
第4号議案 2012年度予算案
議長は、第3号議案、第4号議案を一括審議することを告げ、活動計画案、予算案について坂本に内容を説明させた後、これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。
第5号議案 認定資格取得について
議長は、坂本に認定取得について説明させた後これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

以上で全ての議案の審議を終了したので議長は閉会を宣し、午後2時40分に閉会した。

ベトナム人留学生との懇談会

今回は、事務局が元青葉奨学生、またドンズー日本語学校出身の留学生、社会人の皆さんにご協力いただき開催した座談会についてお送りします。参加して下さった留学生はファン・グエン・カンさん(社会人)、グエン・カン・ティンさん(修士1年)、ファン・ユイトウアンさん(大学4年)、ゴー・ティフーン・ホンさん(大学4年生)、グエン・ティ・ハイ・イェンさん(大学4年)、チン・パトックさん(大学4年)、チャン・ゴック・リンさん(大学4年)、グエン・タイン・フクさん(博士課程)の以上8名です。フクさんを除く7名はドンズー日本語学校留学コースの出身です。また、ティンさん、トウアンさん、ホンさん、トックさん、リンさんの5名は元青葉奨学生です。

——本日はお忙しいところ、遠くからご参加くださりありがとうございます。早速、ベトナムでの生活や青葉奨学生のこと、また日本留学後のお話などをいろいろ聞かせてください。まず、青葉奨学金についてですが、奨学金はどのように使いましたか。

ホン 奨学金をもらう前は、母がお金を借りてそれでいろいろ払ってくれました。奨学金をもらってからはある程度そういう不安は減りました。

——奨学金はどのように使いましたか。高校生だと8ドルですが、もらうときはドンで受け取りましたか。

ホン ドンでもらっていました。

ティン 中学生が10万ドンで、高校生が12万ドンです。

トック 実際、円で換算すると、為替手数料がかかるからその当時は1000円くらいです。

ホン 中学のとき1年分の教科書、参考書とカバンを買うのに2カ月分くらい使いました。

——教科書は学校、あるいは国からの支給ではないのですか。

ホン 支給ではなく自分で買います。

——卒業した先輩から譲ってもらったりとかは。

トック 先輩は親戚にあげちゃいます。

——自分の身内にあげちゃうんで

すね、コピーしたりはしないですか。大学生はコピーしますよね。

ホン そうですね、大学生はこっちはコピーしますね。でもベトナムはコピー機も少なくてあんまりコピーした記憶はないです。

——教科書は、決まった種類のものしかないですか。

ティン 学校の教科書はベトナムの教育部発行です。

カン 教科書は安いですけど、参考書は高いです。

ホン あと、高校生になるとみんな塾に行くので、塾に行かないととても不安です。

——皆さん、やっぱり塾に行きましたか。

ホン はい。塾に行かないと勉強は難しいです。

イェン 中学生までは実家で、母が中学校の教師なので母に教えてもらいました。高校からは自分で勉強しました。

——塾はどんな感じですか、日本の学習塾と同じような感じですか。

トック イメージは同じ。

ティン 小学校は担任の先生に教えてもらって、中高生からは科目の先生、学校の先生に教えてもらいました。

——学習塾の先生は大学生とか、大学の先生がアルバイトで教えているんですか。

ティン 塾の先生は自分の学校の先生です。学校の先生が自分の家で塾みたいなのを開いて、先生のところに行って勉強します。

ホン 学校で教わるのは基礎的なこと、知識だけで、もっと深く学びたいなら、化学や物理の専門的

なことを勉強したいなら塾に行きます。

——でも、それだと学校の先生は学校ではちゃんと教えないのでは。

ティン そういう先生もいます。今は自分のクラスの生徒は教えない、教えてはいけません。

——塾代はどれくらい、学校の学費は。

ホン 塾代は結構高かったです。

ティン 奨学金に対して塾代は半分くらい、学校の学費は安いと思います。1カ月の3分の1くらい。

——毎月の3分の1は学費、2分の1は塾代に消えていくわけですね。勉強用具は2カ月分、そのほかの残りは何かに使うんですか。

トウアン 食事代とか。

——でもほとんど残らない。

ホン でもやっぱり、父と母は学校へ行かせたいから、自分の親は農業だったので子どもたちは大学に行かせたいから足りないとお金借りても、勉強を頑張ってもらいたいと言ってくれました。

——ほかに家庭が農家だという人は。

トック はい、両親とも農家です。

——里子から来る手紙を見ると貧乏な理由が農家なのだという場合が多く、現金収入も少ないようですが、生活はどうでしたか。

カン ベトナムの農家は1年に2回しか収穫できないんです。それ以外のときは仕事なくて暇です。

ホン あと台風とか来ると、大変です。ベトナムの農家とは違って、日本農家はお金持ちのイメージがあります。

——農作業がないときは出稼ぎとか行かないんですか。

トック 野菜を育てます。1年に2回は米の収穫です。たぶん日本で育てている野菜は全部ベトナムでも育てています。今スーパーに出ているものはうちでも母が育てています。

——現金収入がなくても、食べるものを育てられれば何とかやって



いけるということですか。

トック 普通の農家で両親がいれば平気だと思いますが、どちらか1人が早く亡くなったり、両親が障碍者とかだと大変です。

——今年来た手紙に長い休みの後に学校行くと、何人か友達が来ていなくてそれが悲しいという内容のものがあつたのですが、やはりクラスの子で学校に来られなくなる友達とかいましたか。

ホン 場所によって違います。たぶん農家で貧乏なところだと学校に行けなくなったりとかもあると思います。

——ホウエ先生の考えでは、奨学金はあくまでも勉強を頑張ることへの奨励金という考え方ですが、誇らしいとかそういう気持ちはありましたか。また日本から奨学金が送られているというのは意識としてありましたか。

ホン 感謝の気持ちです。同じベトナム人じゃなく、遠いところから私のことを知らなくても応援してくれたからうれしかった。

——里親のことはどうやって知りましたか。

ティン 奨学金もらうときに、そこに名前が書いてあります。

——手紙のやりとりとかは。外国人に手紙を書くというのはどうでしたか。里子の手紙は書き方が似ていますが、手紙の書き方とかは誰に教わりますか。

ティン 手紙は、自分が書くときは一生懸命書きました。A4に2枚くらい書いて、今、自分も翻訳してみても、昔翻訳してくれた先輩は大変だなと思いました。

ホン 手紙は半年に1回。翻訳の段階とかで時間がかかります。だからベトナムと日本は半年の時差がありました。でも手紙をもらうとうれしかったです。

ティン 手紙は作文の授業で書き方を習いました。

——実際、自分で例えば親戚の人とか、お友達に手紙をよく書くということはなかったですか。

トック 自分のときはすごく書きましたね。今は全然。手紙の書き方は、一番は構成と長いほどいいという感じで、短いと失礼に感じます。

——だから必ず「短いですがここで筆を置きます」という文章があるんですね。でも何度か里親と手紙のやりとりをすると相手のことが分かるので、手紙の書き方とか変わってきたりしますか。

ティン 里親から手紙をもらっている学生はそんなに多くないと思います。昔、自分はああこの学生は里親から手紙とかもらって、里親がベトナムに来て奨学生に会っているのを見てうらやましいなと。

——なかなか全員が会いに行くのは難しいから、スタディーツアーのときなどにできるだけ交流会などで里子に会う方がいいですね。次に、青葉奨学会とドンズー日本語学校のことですが、カンさんとイェンさんは青葉奨学生ではありませんでしたが、ベトナムにいたときに青葉奨学会のことはご存じでしたか。

カン はい。同じクラスの女の子が青葉奨学会の奨学金をもらっていました。高校1年ぐらいのときでしたが、そのときに知りました。

——出身はどちらですか。

カン タイビン省です。

——トックさんも同じタイビン省出身ですよ。2人ははもともとお互いのこと知ってましたか。

カン 知らなかったです、学年が3年も違うから。でも同じ高校でした。クラスも同じ。高等専門学校だったんですけど、専攻が同じだったんです。僕が2003年卒業で彼は2006年卒業。

トック 同じプログラミングクラスです。でも、私が入ったときは卒業しちゃったのでお互いに知らないです。

——話は戻りますが、その青葉奨学金を受けていた同級生の子はやっぱり優秀だったんですか。

カン はい、成績優秀。あと家庭が経済的に困っていました。

——同じ学校では1人だけですか。

カン 同じクラスでは1人ですが、ほかのクラスにもいたかもしれないです。

——ドンズーの日本留学コースというのはどうやって知りました

か。ドンズーはホーチミンにあるでしょ。奨学生の中にはドンズーに留学コースがあるのを知らないって人もいますよ。

トック 私の場合は、高校3年間青葉奨学金のお世話になりましたが、ドンズーの留学制度についてほとんど情報は入ってきませんでした。私はひとつ上の先輩がドンズーに入っていて先輩からいろいろ話を聞きました。

——あんまり学校にはドンズーからの案内が来ませんか。

カン 私の場合は知っていました。学校内でドンズーの留学制度についての情報が流れていて、それがきっかけで調べました。最初は同じ学校のドンズーの先輩について知りませんでした。調べたら何人かいました。

トック 私の場合は、ホウエ先生に学校で面接してもらいましたが、そのときはドンズーの留学制度について知っていませんでした。でも、あまり積極的に情報を流さないとか、みんなが知ってしまうと競争率が高くなるので、たぶん知っていてもあまり情報を公開しなかったです。

——では、学校の先生から留学の話が来るわけではなく、自分が留学したいからそういうドンズーの願書の出し方を自分で調べるんですね。

フク でもその情報は、特定の学校に限られていますね。

カン 一応私たちの学校は、タイビン省の中でトップの高校です。

——ほかの省はどうですか。

ホン 私の場合はハナム省ですが、ホウエ先生が来てくださって話をしてくれました。でも最初全然興味がありませんでしたが、その後、奨学会の先生が勧めてくれ、自分でアルバイトして生活で



きると聞いたので、はい、行きますと。でも私の学校の校長先生はあんまり学生を外に出したがらなくて、留学なんかしなくてもいいという感じだったので、ハナムからドンズーへ行ったのはたぶん私のころが初めてです。それに元青葉奨学生がほとんどです。

——ティンさんはホーチミン出身だから、ドンズー日本語学校や、留学コースの存在は知っていましたか。

ティン そうですね、私は中学2、3年生のころに留学プログラムを知りました。前から毎年始めにホーチミン近辺の奨学生を集めて、奨学金をもらうときに、学校の掲示板にあるお知らせとかを見て。

トウアン ドンズー日本語学校で奨学金をもらってたんですか。奨学会ではなく。



ティン 青葉奨学会から直接。

——ホーチミンの場合はドンズーに集められるんですね。それでしたら情報も早いですね。トウアンさんはダナン出身ですよ。今はダナンにもドンズーがありますけど、トウアンさんのときはなかったですよ。

トウアン 私のときは、ドンズー日本語学校はないので、奨学会です。

——トウアンさんは奨学会を通してそういう留学プログラムがあると聞いて応募したんですか。

トウアン たぶん私のときはほとんど奨学会に勧められていました。

——イェンさんは青葉奨学生ではなかったから、留学の情報はどうやって知りましたか。

イェン 小さいときから子どものための新聞を読んで、青葉奨学金の存在も知っていました。宣伝ではなく記事として、子ども向けの

新聞に今年どれくらいの学生が青葉奨学金もらいましたという情報が載っていました。でも奨学金を支給される学校とされない学校がありました。だから近くで奨学金をもらった人はいませんでした。私は高校2年生のとき、1つ上の先輩がドンズー日本語学校に行ったのを知って、自分も行きたいと両親に話しました。そうして両親が情報を探してくれました。

——留学の情報も探すのは大変なんですね。あと、ドンズーの留学コースを受けるためにはベトナムの大学入試を受けますよね。結構、高い点数を取る必要があると聞きましたか。

カン ドンズーの留学コースに入るためにはベトナムの大学に合格しないといけないという条件があるんです。今はどうなっているかわからないですけど、僕の場合はまず大学入試があって、ドンズーの入学試験みたいなものがあるんですよ。1回ドンズーに入って勉強している間に大学の試験結果が出て、駄目だった人は帰らないといけないのですが、ほとんどそういうケースはないと思います、大学に受かって大学に行く人もいます。暗黙のルールとして一応ベトナムの大学に合格できなければ、日本で受験するのは無理じゃないかと。

——皆さんの留学が決まって、ご家族の皆さんはすぐに賛成してくれましたか。特に女の子の場合、18歳で海外に出すっていうのはご家族は心配されませんでしたか。

イェン 私は勧められました。

リン 応援してくれました。

——でも来日後、約2年間日本語を勉強して受験ですよ。日本語学校の月謝も高いし、皆さんアルバイトしながら受験勉強したわけですよ。男性は新聞奨学生になると聞きましたが、女性はどうか。

ホン 私は盛岡に住んでいましたが、いろいろなアルバイトをしました。仕事も3、4個掛け持ちしていました。そうしないと学費が払えないんです。

——地方だとアルバイトが少なくて大変だったでしょう。

ホン はい。でも、私が来たのは

4月なので、先輩が卒業した後で仕事が多いです。でも10月に来る人は大変です。仕事が見つかるまで1、2カ月かかります。

——カンさんもアルバイトしましたよね。

カン はい、でも自分で見つけました。最初の月の電話代は2万円だったんです。アルバイト探しているんなところに電話したので。紹介してくれる先輩もいなかったし、なんて言われるか分からなかったのととりあえず電話しました。

——何のアルバイトをしましたか。

カン スーパーの精肉コーナー、居酒屋、ファミリーレストランの洗い場とか、新聞配達も半年やりました。

——新聞配達は朝早くからだから、つらくてもう嫌だと思いませんでしたか。あと、最初のころ、道に迷ったりしませんでしたか。

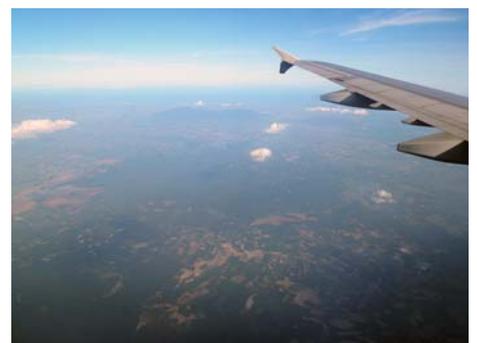
カン 順路帳というのがあって、その中に配達先の名前、新聞の種類、配達ルートこっちの家の次はこっちに移動するというふうに道の記号や印があって。次は何軒、3軒先だったら3と書いて、右なら右と。

——でも記号ならあまり日本語の勉強には役に立たないですね。

カン 日本語の勉強の役に立ちましたよ。毎月順路帳を新しく書き換えないといけなくて、新しい人が入ったりして。毎月終わりに書き直します。

トック 自分の場合は、書くだけじゃなくて地図を付けたから難しかった。

——ところで話が変わりますが、日本に来ての印象、驚いたことなどありますか。食べ物とか。ホンは盛岡で言葉分かりましたか。



ホン 言葉ですか。大丈夫でしたよ、みんな普通にしゃべってくれましたから。最初はやっぱり分からなかったですけど。

——食べ物はどうですか、生ものとかは大丈夫ですか。お寿司とか、ベトナムでは生もの食べませんよね。

一同 食べない、食べない。

ホン 食べません、寿司も食べないしあと納豆もあんまり好きじゃない。

トック 意外と僕は平気です。

トゥアン 大丈夫です。

カン 最初、納豆食べられなかったんですけど、会社の食堂でよく出てたんです。それで食べられるようになって好きになりました。社会人になってから。

——カンさんは大学、沖縄でしたよね。沖縄は食事や、雰囲気もこちらと全然違うじゃないですか、どう感じましたか。

カン 沖縄に来てよかったです。最初東京に住んで、あまりにもアルバイトとか忙しくて勉強できなかったし、あまり日本人に接する機会もなかったです。でも沖縄に来て、最初は田舎で嫌だったんですけど、沖縄青葉奨学会の皆さんと知り合って。ベトナム語を教えるきっかけで知り合ったんですけど、その後、翻訳とか通訳の仕事があって、いろんな交流の場も広がりました。本当に自分の人生に影響を与えてくれた人もたくさんいて、刺激を受けました。就職が決まったのもそういうきっかけです。

——山梨の3人（トゥアンさん、ホンさん、イェンさん）はどうですか。

トゥアン 山梨は何もない、田舎

です。海がないです。

——トゥアンさんはダナン出身だから海が恋しいですよ。ほかの人は。

ホン 私は結構好きです。空気がきれいなところが好きなので山梨は住みやすいと思います。

——イェンさんはブログで時代衣装を着て、お祭りに参加した様子を見せていましたね。あれは何をきっかけで知ったんですか。

イェン 信玄祭りです。毎年大学でこの役をする人何人か出てくださいと募集します。特別今年は大勢の人を募集していたのでやっとできました。

トゥアン 今年ギネス登録するために、できるだけいろんな人をたくさん探したからだと思います。

——ほかの人はどうですか。千葉や東京と都会ですが、住みやすいですか。

トック 自分の生活圏は半径1キロメートルしかないから何も言えません。

——では日本で行ってみたいところありますか。あるいはどこか行ってよかったところとかはありますか。

一同 北海道。

リン 沖縄。

カン 沖縄は、海がすごくきれいだし人も優しいです。ちゅら海水族館もできたときは世界一の水槽があったり。水槽の壁を透明にするんですけど、その厚さが世界一だったんです。あと魚の種類とかも多くて、ジンベイザメに餌を与えるショーがすごかったです。

——トゥアンさんはどこか行きましたか。

トゥアン いろいろ行きました。

北海道も行ったし、関西に行きたいですね。関西はあまり行かない、あと九州も。

——最後に、日本に留学して日本人の本当に信頼できる友達はできましたか。

ティン 同じ留学生の立場だから理解しやすいっていうのがあります。私の研究室は日本人、ベトナム人、韓国人と、台湾人と中国人もいて、私の方はほかの国の留学生と日本人と仲良くできます。

カン 確かに、ほかの国の人と話すときの方が日本人より、ちょっとオープンなところもあるんですけど、信頼できる日本人の友達はいました。

誌面の都合上すべてを掲載できませんが、1時間半にわたっていろいろなお話を伺いました。今回参加して下さった方々は皆さん大学4年生以上ですので、来日から最低でも5年以上は自分たちで学費、生活費を稼いで生活しています。決して簡単なことではなかったと思いますが、苦労話をしているときでも表情は明るく、今後の進路についても将来のことを見据えて真剣に考えている様子でした。皆さんの今後のご活躍をお祈りいたします。



(本文と写真とは関係ありません：編集部)

ベトナムからの手紙

高校生になります

チャン・ティ・タイン・ヒエン

里親さま、こんにちは。長い間、手紙を書きませんで

した。お元気ですか？ お仕事はいかがですか？ 私の家族は変わらず元気です。父は今も仕事をしていますが、もうすぐ引退です。母は変わらず服を受け取って、内職をしています。先日、今学年が終わりました。私たち姉妹は、どちらも優秀な学生になりま

した。妹は美しい字で3位、優秀生で2位になりました。英語のスピーチに参加しましたが、奨励賞でした。6月21日に、私たちは10年生になりました。私はスアン・ディン高校に入ります。家からかなり近いです。もし選抜クラスに入れれば、環境はとても良

いです。父は傷病兵なので、私の得点は2点加算されます。約2週間後に、正式な点数が発表されます。物理、数学は、かなり良いと思います。点数が分かったら、お知らせしますね！

高校受験のため、このところずっと勉強していました。今は試験が終わって、家で母の仕事をもっと手伝えます。というのは、私たちは今、夏休みだからです。たぶん今年、私は、自分の制服の裁断と縫製を勉強するつもりです。母に教えてくれるように頼みますが、私はあまり器用ではないので、自分ができるかどうかは分かりません。

里親さまからの手紙を受け取って、私はとてもうれしかったです。私も桜の花を見たいです。そちらの楽しい雰囲気を感じたいです。ベトナムは今、夏です。かなり暑いです。道を行くと、木の上で鳴くセミの声が聞こえます。鳳凰木ほうおうが咲くと、とてもきれいですよ！空の一角が、真っ赤になります。毎朝、妹と運動のために西湖の周りを走っています。空気がとても澄んですがすがしいです。特にハスの池に出ると、ハスの花が美しく咲いて、いい香りがして、とても素晴らしいです。数日後に、母方の祖母と親戚を訪ねるために田舎に帰ります。田舎では、山に登って、魚釣りをし、川で水浴びをします。とても楽しいですよ！いつか、一度、里親さまをお連れしたいです。

前の手紙で、里親さまは私に画家になりたいかとか、どんな絵が好きかとお尋ねでしたね。私は、ただ本で読んで、画家については少し知っているだけです。芸術的な絵は、刺しゅう絵の方が好きです。私も今、刺しゅう絵を作っ

ているところです。もし機会があったらお見せします。

終わりに、里親さまとご家族のご健康とお幸せをお祈りします。お手紙をお待ちしています！

学校での思い出が いっぱいです ドアン・ティ・ザン

里親さまの返事をいただき、私はさっそくペンを執り、あいさつの言葉を送ります。始めに、里親さまのご健康、ご成功、そしてご親戚、友達の皆さまのご健康、幸福を願っています。

私と、私の家族の健康について尋ねてくださり、ありがとうございます。ベトナムでは現在セミが果樹園の葉などからにぎやかに鳴き始めています。これらは懐かしい夏休みが来たことを現す印です。夏休みは私たちが1年間の緊張、勉強の疲れの後で、遊んだり休んだりする時期ですが、しばらく先生と友達に会えないのでちょっと寂しいときでもあります。実は夏休みの間は、私にとっては叔母の子どもの面倒を見たり、祖父母の家事を手伝ったりすることができ、とてもうれしいときでもあります。とはいいいながら、早く時間が過ぎて、先生や友達と早く再会するのを望んでいます。この1年は私と友達や先生方との美しい学生時代の思い出がいっぱいでした。私のクラスはとてもまとまってお

り、勉強に対する意欲が高いのです。これは私にとって一番うれしいことです。

例年11月20日が近づくと、私たちはわくわくして、先生方を喜ばせるため、満点の10点が取れるように頑張ってお勉強します。11月20日はベトナムの先生の日です。先生は毎日一生懸命授業をして、私たちに有益な知識を教えてくださいますが、11月20日はこの先生方へ感謝をする日です。先生は、渡し船の先頭と同じように、生徒たちを川の向こうへ送るといふ例えがあります。先生は1年間私たちの成長を見守ってくれます。本当にその通りです。このときに私たちは競争して壁新聞を作ります。クラス全員が熱心に楽しんでこの作業を終わらせます。ときどき宿題で難問があり、気が滅入ることもありますが、友達のことを考えて、みんなを失望させないように頑張ります。

私の母は相変わらず遠い所で働いています。それで私は祖父母、叔父夫婦といとこと住んでいます。寂しいとき、母の慰めが必要なときもありますが、皆さんの激励のおかげで、その寂しさがいくらか減ります。特にこのときに里親さまの手紙は私をもっと喜ばせてくれます。里親さまとご家族の写真を見ました。里親さまとご家族のご健康を願っています。いつか私のところへいらっしゃるのをお待ちしております。 敬具

楽しいお正月でした

レ・ティ・カイン・ガン

まず、里親さまのご健康をお伺いするため、そして、お正月についてお話するために、今日この手紙を書きます。お正月が近づいて、新年を迎える準備で家族は家をきれいに



掃除します。近所の家も掃除をします。お正月を迎えるため、家によってライスパーを作ったり、果物の砂糖漬けを作ったり、ちまきを作ったり、団子を作ったりします。大みそかの晩は、家族とテレビを囲んでお正月を迎え、花火を打ち上げる特別番組を見ます。私も父、母、きょうだいと見ました。お正月は休みで時間があるので、きょうだいたちと市場へ人々に売り買いされる商品、植木、花、果物の砂糖漬け、そのほかいろいろなものを見に行きました。元日、家族で母方の祖父母を訪ね、私が祖父母の長寿を祝うと、祖父母はお年玉をくれました。母は、姉と私をおじとおばの家へ連れて行ってくれました。そこでもお年玉をもらいました。もうお正月は終わってしまいましたが、私の心の中には、今も楽しさやウキウキした気持ちが残っています。新年の抱負は、両親や私を支援して下さる青葉奨学会の里親皆さんをがっかりさせないように、本当によく勉強ができるようになることです。終わりに、里

親さまに新年のごあいさつをいただいたことにお礼を申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

勉強し、よりよく生きる喜びを

ゲン・ホン・ニユン

まず、里親さまとご家族のご健康とお幸せ、ご幸運をお祈りします。

里親さまが関心を持ち、支援してくださり、青葉奨学金をいただけてとてもうれしいです。このお気持ちは、私が困難を乗り越え勉強する手助けをしてくれました。

里親さま！ 私の家は田舎にあります。家はずっと前に建てられたので、今はあちこち傷んできています。

うちには黄色の犬がいます。ですから、私はバン (Vang=黄色) と名付けました。学校から帰ると、いつも門の所に迎えに来て、しっぽを振りまします。私は餌をやって、午後には洗ってやります。

家には祖父と私だけです。祖父は年を取り目が悪いので、家の中で動いたり、庭に出た

りするだけです。祖父はいつも古いしまの上着とズボンです。祖父は少ししか寝ません。毎朝、私が起きると、祖父はもう起きて飲み物を飲んでいきます。

毎朝、私は6時に起きます。歯を磨いて顔を洗ったら、食器を洗います。冷やご飯があったら1杯だけ食べて学校へ行きます。

昼、学校から戻ったら、祖父を手伝ってスープやおかずを作ります。よく落花生や魚などを食べます。

1日に2回学校へ行きます。土曜日と日曜日だけは休みで家にいます。学校へ行く以外は、料理や掃除など、祖父を手伝っています。

里親さまの支援をいただけて、私は幸運です。里親さまは、勉強しよりよく生きるための喜びをくださいました。

里親さま、本当にありがとうございます。

(本文と写真とは関係ありません：編集部)

●事務局から

◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます(順不同・敬称略) (「新」は新規会員)

2012年5月	里親基金			賛助基金	(新)
		一般基金			(新)
2012年6月	里親基金		一般基金		賛助基金
			学生基金	(新)	
2012年7月	里親基金	(新)		賛助基金	(新)
	一般基金				
	学生基金				
2012年8月	里親基金	(新)		賛助基金	(新)
2012年9月	里親基金				
2012年10月	里親基金	(新)	賛助基金	黄梅基金	
	一般基金				
2012年11月	里親基金			賛助基金	
		学生基金		(新)	黄梅基金

2012年12月 里親基金

一般基金
学生基金(新) 賛助基金
黄梅基金

(新)

◆ベトナム子ども基金会員募集！(友人・知人をお誘いください。ご協力をお願いします！)

里親基金：年額1口 20,000円 学生会員：年額1口 10,000円	特定の子どもに「里子」として奨学金を支給する「里親」になっていただけます。ベトナム青葉奨学会から、子どもと家族の状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができます。
一般基金：年額1口 12,000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。通信を通じて会の運営報告、子どもたちの様子などをお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数などいっさい自由です。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設します。該当学校に青葉奨学金を併設することも可能です。
個別黄梅基金：1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立し、預金利子を奨学金とします。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上決定します。
ベトナム黄梅基金：1口10,000円	複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立し、預金利子を奨学金とします。

ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座にお願いいたします。

口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ)：トクヒ)ベトナムコドモキキン

里親基金用(一般、賛助基金を含む)

郵便振替 00100-6-546799 銀行(みずほ銀行駒込支店) 普通1121865

黄梅基金用(個別寄付、学校建設を含む)

郵便振替 00130-4-552361 銀行(みずほ銀行駒込支店) 普通1121873

■振込口座ご確認のお願い!!■当基金がNPO法人に移行して2012年の10月で3年を迎えました。これまで経過措置として任意団体時の口座へのお振込みを受け付けておりましたが、前号でお知らせいたしました通り、口座解約の手続きを行っております。今後は上記のNPO法人名義の口座へご送金くださいますようお願い申し上げます。お手数おかけいたしますが、お振込口座につきまして、今一度ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

◆事務局だより

頒春の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか。このたびは子ども基金通信57号の発行が大幅に遅れましたこと、心よりお詫び申し上げます。ボランティアで編集、発行作業を行っておりますが、皆さまに活動の報告を行う重要な手段ですので、今後、発行スケジュールを厳密に管理し、遅れることがないようにスタッフ一同努めてまいります。

さて、振込口座につきまして前号よりお知らせしました通り、任意団体時に使用しておりました銀行口座、ゆうちょ銀行振替口座を解約し、NPO法人の口座に統一する手続きを行っております。銀行口座についてはすでに解約手続きが終了しております。通信の発行が遅れましたので、ゆうちょ銀行の口座についても解約手続きを進めておりますが、1月末まで入金を受け入れができなくなります。2012年に旧口座をご使用になられました方には、口座変更のお願いを同封いたしますので、こちらも合わせてご確認いただけますようお願いいたします。

現在、事務局では里子履歴票の発送を進めております。これに先立ち、里子が2012年に高校を卒業しました会員さま宛に、里子のその後の進路と、今後のご支援についてのお知らせをお送りします。こちらが手元に届きましたら、内容をご確認の上、今後のご支援について事務局までご返信くださるようお願いいたします。

2012年もベトナムの子どもたちのために多くの皆さまにご支援賜り、また事務局運営、翻訳等にもボランティアとしてご協力賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。2013年も引き続き、ご支援ご協力よろしくようお願い申し上げます。(坂本)

